令和３年度　成績概要書

課題コード（研究区分）：　３１０３－３２８５１１　（経常（各部）研究）

１．研究課題名と成果の要約

１）研究成果名：消費者に YES!clean 表示制度の魅力が伝わる説明文のコンセプト

（研究課題名：YES!clean 表示制度の理解促進に向けた消費者評価）

２）キーワード：消費者、YES!clean 表示制度、魅力、説明文、コンセプト

３）成果の要約：消費者が魅力を感じる YES!clean 表示制度の説明文には、50 文字以内の短い文章であること、厳しい栽培基準を満たした農産物の証であることを記すこと、化学肥料や農薬に関する基準であることを記すこと、基準を定めた機関を記すことといったコンセプトが必要とされる。

２．研究機関名

１）代表機関・部・グループ・役職・担当者名：中央農試・農業システム部・農業システムＧ・研究職員　松本　匡祐

２）共同研究機関（協力機関）：十勝農試・研究部・農業システムＧ
（北海道クリーン農業推進協議会）

３．研究期間：令和元～３年度　（2019～2021 年度）

４．研究概要

１）研究の背景

クリーン農業の優位性を示すためには、表示制度に対する注目や興味を集める情報発信のあり方が問われている。消費者の食品表示制度に対する理解を深める上で必要な知見を得ることは、YES!clean 表示制度の魅力を伝える上で極めて重要である。

２）研究の目的

一般消費者に対する調査により、YES!clean 表示制度に対する消費者の理解促進に重要な情報を特定し、制度の魅力を消費者に伝えることに資する。

５．研究内容

１）研究項目１　YES!clean マークにおける課題の明確化（R1 年度）

・ねらい：マークの機能に対する一般消費者の評価を明らかにするとともに、選択型コンジョイント分析を行い、マークが食品の購買確率に与える影響を明らかにすることで、マークの課題を明確にする。

・試験項目等：回答者の属性、マークの機能に対する評価と判断理由、購買確率、限界支払意思額

２）研究項目２　説明文に必要となるコンセプトの設定（R2 年度）

・ねらい：マークに対するイメージと制度に関する説明文等の付加情報を閲覧した後に変化したイメージについて、消費者を対象にしたグループインタビュー（GI）で得られた発話を基に視覚的に整理する。

・試験項目等：登録マークのイメージ形成に係るインタビュー、表示制度の説明文に係るインタビュー、テキストマイニング（ISM 法を用いた発話内容の整理）

３）研究項目３　説明文に必要となるコンセプトの効果検証（R2 年度～R3 年度）

・ねらい：マークに付随した複数の説明文案について消費者の選好を相対評価する。併せて、自由記載欄に記したキーワードの出現頻度や肯定的及び否定的な意見に固有なキーワードを明らかにする。

・試験項目等：ベストワーストスケーリング分析、テキストマイニング

６．研究成果

１）マークを見て YES!clean の制度内容を理解できる消費者は、道産食品登録制度より少なく、正式表示よりも略式表示で少なかった（データ略）。消費者はマークの制度内容について、略式表示では「わからない」と認識しているのに対し、正式表示では「化学肥料」や「農薬」等と認識していた（データ略）。マークの表示により、生産地の理解や購買意欲の向上については一定の効果が認められた（データ略）。マークを見て制度内容を理解できるとした消費者の評価はばらつきが大きく､制度内容の理解と購買意欲との関係は判然としなかった(図１)。以上から、マークの課題は消費者に制度内容が伝わりにくい点であり、これを補完するための説明文が必要とされる。

２）現状の YES!clean 表示制度の説明文で魅力に感じる点としては、「厳しい」「基準」を「満たす」「農産物」の「証」であることが挙げられた。説明文の改善点としては、文章が長いため「一行」程度の短い文とする要望が挙げられた。特に、説明文に加えるべき点として、「認証」している主体や「メリット」を示すことが必要との意見が挙げられた（図２）。以上を踏まえて、説明文に必要となるコンセプトを、表１のとおり設定した。

３）－１　コンセプト①～③は、採用した文案の順位が採用しない文案よりも高く、消費者の選好を高める要素と判断された（表２）。なお、基準を満たした農産物の証を示すコンセプト②は、文案Ｄよりも化学肥料や農薬の基準であることを示す文案Ｃの順位が高いことから、基準の内容は具体的に示す必要があるといえる。

３）－２　消費者のメリットに係るコンセプト④は、採用した文案Ａの順位が相対的に低く、標準偏差が最も高かった（表２）。また、関連する自由回答では、「自分が評価されている気分」や「押しつけがましい」等の相反する意見がみられた。このようなことから、コンセプト④は、必ずしも選好を高めるものではないといえる。

３）－３　文案Ｂは年齢、環境意識、マークの表示方法を問わず、１位であった（データ略）。ただし、マークの意味を知っている回答者は、現行文案Ｆの順位が最も高く、制度に関する情報量が多い説明文を好む傾向があった（表２）。このようなことから、コンセプトを活かした説明文で興味を集めた上で、詳細な情報発信を行うといった段階的な情報発信が効果的であると判断した。

YES!clean 表示制度の魅力を効果的に伝えるには、50 文字以内であること、厳しい栽培基準を満たした農産物の証であることを記すこと、化学肥料や農薬に関する基準であることを記すこと、基準を定めた機関を記すことといったコンセプトを踏まえた説明文等を作成していく必要がある。

＜具体的データ＞

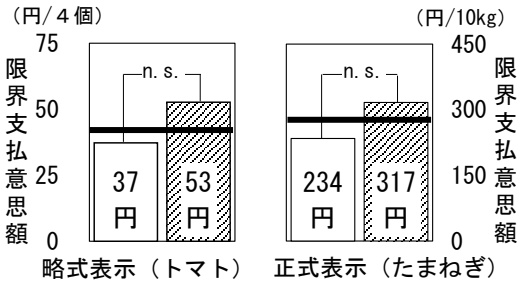

図１　制度内容の理解と購買意欲の関係

凡例
□ マークを見て制度内容を理解できない回答者の評価額
▨ マークを見て制度内容を理解できる回答者の評価額
▬ 全ての回答者を対象としたマークに対する評価額

注１）限界支払意思額は、選択型コンジョイント分析により算出された値であり、マークが表示されることにより、増加する評価額を示す。
注２）全ての回答者を対象としたマークに対する評価額は、略式表示（トマト）42 円/4 個、正式表示（たまねぎ）277 円/10kg であった。
注３）n. s. はマークを見て制度内容を理解できる回答者の評価と理解できない回答者の評価に有意な差がないことを示す。
注４）正式表示は、YES!clean 表示制度のシンボルマークに加えて、生産集団名や栽培内容等の情報を一括表示したものである。一方で、略式表示は、シンボルマークのみがパッケージの表面に表示されたものである。

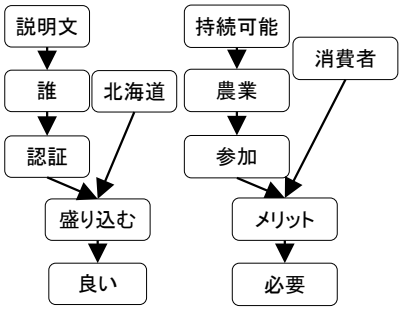

図２　グループインタビュー（ＧＩ）における参加者の発話例（ISM 法）

表１　発話内容を基にしたコンセプト（仮説）とその検証結果

コンセプト（仮説）		具体的な文案	仮説の検証結果
①	短い文章である	※50文字程度	採用することで説明文の順位を高めた
②－１	厳しい基準を満たした農産物の証であることを示す	厳しい基準をクリアした農産物の証	
②－２	具体的に基準の内容を記載	化学肥料や農薬の	
③	基準を定めた機関を示す	北海道で定められた	
④	消費者にとってのメリットを示す	環境にやさしいクリーン農業のサポーター	採用した説明文の評価にばらつき

注）ＧＩの発話を踏まえ、北海道クリーン農業推進協議会と検討した上で、文案を作成した。

表２　消費者による説明文案に対する評価（ベストワーストスケーリング分析）

項目	採用したコンセプト ①	②	③	④	文字数	提示した文章	BWスコア 全体	順位 全体	マークの認知度 意味を知らない	意味を知っている
文案Ａ	△	○	○	○	82	YES!cleanマークは、北海道で定められた化学肥料と農薬の厳しい基準をクリアした農産物の証であり、購入するあなたは、環境にやさしいクリーン農業のサポーターです。	21	４位	４位	６位
文案Ｂ	**○**	**○**	**○**	**×**	**50**	**北海道で定められたYES!cleanマークは、化学肥料と農薬の厳しい基準をクリアした農産物の証です。**	**162**	**１位**	**１位**	**３位**
文案Ｃ	○	○	×	×	41	YES!cleanマークは、化学肥料と農薬の厳しい基準をクリアした農産物の証です。	54	３位	２位	７位
文案Ｄ	○	△	×	×	35	YES!cleanマークは、厳しい栽培基準をクリアした農産物の証です。	-121	８位	８位	８位
文案Ｅ	△	×	○	○	60	北海道で定められたYES!cleanマークが付いた農産物を購入するあなたは、環境にやさしいクリーン農業のサポーターです。	-221	９位	９位	８位
現行文案Ｆ	×	○	○	×	114	北海道では、「健康な土づくり」、「化学肥料の低減」、「化学合成農薬の低減」による「クリーン農業」を推進してきました。YES!cleanマークは、持続可能な「クリーン農業」への取り組みで生産された安全・安心で優れた農産物の証です。	84	２位	３位	**１位**
⋮										
現行文案Ｉ	△	×	×	×	92	YES!clean農産物は、「人へのやさしさ」、「作物へのやさしさ」、「環境へのやさしさ」をキーワードに、持続可能な農業による安全・安心で優れた品質の農産物を全国にお届けしています。	20	５位	５位	４位

注１）採用したコンセプトは次のとおり　①：短い文章である　②：厳しい基準を満たした農産物の証であることを示す
　　③：基準を定めた機関を示す　④：消費者にとってのメリットを示す
注２）コンセプトの凡例は次のとおり　①：○＝文字数 50 字以下、△＝文字数 51～100 字、×＝文字数 101 字以上
　　②：○＝具体的に基準の内容を記載、△＝抽象的に基準の内容を記載、×＝記載なし　③及び④：○＝記載あり、×＝記載なし
注３）ＢＷスコア：ベストに選ばれた回数－ワーストに選ばれた回数（値が大きいほど、選好が強い）
注４）現行文案Ｆ～Ｉは、北海道クリーン農業推進協議会から提案のあった文章や既存資料を基に設定した。

【用語解説】
選択型コンジョイント分析：属性が異なる商品を提示し、選択することを繰り返すことで、ブランドの価値を貨幣価値で計測する手法
テキストマイニング：ＧＩの発話内容等のテキストデータを分析し、有益な知識や情報を取り出す技術の総称
ISM 法：キーワード間の因果関係を視覚的に整理するための手法であり、発話内容の全体像を把握できる手法
ベストワーストスケーリング分析：複数の選択肢から最も良いものと悪いものを選択することを繰り返すことで、選好を明らかにする手法

７．成果の活用策

１）成果の活用面と留意点

北海道クリーン農業推進協議会において、YES!clean 表示制度の説明文を作成する際に活用される。

２）残された問題とその対応　なし

８．研究成果の発表等